

京都府立図書館連続講座・ 子どもへの読書活動支援事業

京都府 京都府立図書館

基本データ

所在地	京都府京都市左京区岡崎成勝寺町
職員数	32人
うち司書数	17人
蔵書数	約1,310,000冊
利用登録者数	約129,000人
年間貸出冊数	約190,000冊 (児童用図書貸出数 -)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】様々な利用者へのサービスの充実、子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 京都府立図書館の利用促進及び府民の生涯学習の振興。
- 様々な課題(生活困窮世帯・ひとり親家庭等)を抱える子どもに本に触れる機会を増やすことにより、全ての子どもが夢や希望を持って成長していけるようにすること。

取組・活動の概要

(1) 京都府立図書館連続講座

- 年に6回程度、京都の大学等で研究されている有識者を講師に迎え、各種研究分野についての講座を実施し毎回テーマに関連した本を展示。
- 開催例として、令和元年度連続講座では、京都橘大学文学部歴史遺産学科の有坂道子教授より「なにわの町人学者のユニークな世界」をテーマに開催し112名が参加した。



連続講座

(2) 子どもへの読書活動支援事業

- 平成29年度から京都府が支援している「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」に取り組んでいる団体に、図書の一括貸出しを行い、様々な課題(生活困窮世帯・ひとり親家庭等)を抱える子どもへの読書活動の機会を増やす支援を行っている。
- 貸出実績は、平成29年度は11団体に787冊、平成30年度は13団体に1,467冊、令和

元年度(12月時点)では15団体に1,280冊。

取組・活動の工夫や特徴

(1) 京都府立図書館連続講座

- 様々な府民のニーズに応えるために、幅広い分野の講演テーマを設定している。
- (2) 子どもへの読書活動支援事業
- 近畿初の取組。健康福祉部と連携した取組で、様々な課題(生活困窮世帯、ひとり親家庭等)を抱える子どもを支援する事業である。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 連続講座

- 毎回アンケートを実施しており、今後の取組の参考としている。新たに参加された府民もあり、府立図書館の利用促進へとつながっている。今後も府民のニーズに寄り添ったテーマ設定を行い、利用者の増加を目指したい。

(2) 子どもへの読書活動支援事業

令和元年度12月末時点で団体数については昨年度の実績を上回っており、今後もより多くの団体と連携を図って、様々な課題(生活困窮世帯・ひとり親家庭等)を抱える子どもの読書活動を支援していきたい。